



むさしだい

学校だより6月号 Web
平成29年5月31日
中野区立武蔵台小学校
校長 戸崎 晃

自分の大切さとともに
他の人の大切さを認めること

校長 戸崎 晃

6月は第1回『ふれあい（いじめ防止強化）月間』です。保護者、地域の皆様と児童の健全育成に取り組むために共有しておきたいこと、それが標記にある人権尊重の理念です。

本校では、様々な教育活動の取組を評価する学校評価において、児童自身による評価も行っています。昨年度末の結果は以下のとおりでした。

【自分を大切にしている】

	とても	だいたい	あまり	ぜんぜん
1年生	84.2%	8.5%	6.1%	1.2%
2年生	83.5%	12.1%	1.1%	3.3%
3年生	86.4%	9.9%	2.5%	1.2%
4年生	55.2%	30.3%	13.2%	1.3%
5年生	44.6%	44.6%	6.8%	4.0%
6年生	38.0%	48.1%	10.1%	3.8%

【友達を大切にしている】

	とても	だいたい	あまり	ぜんぜん
1年生	80.3%	16.0%	2.5%	1.2%
2年生	82.4%	15.4%	2.2%	0%
3年生	92.7%	6.1%	1.2%	0%
4年生	77.9%	19.5%	2.6%	0%
5年生	78.1%	20.5%	1.4%	0%
6年生	69.1%	30.9%	0%	0%

結果を考察すると次のようなことが言えます。

- ・とても自分を大切にしている児童は、4年生から急に減少している
- ・自分よりも友達を大切にしている割合の方が高い
- ・ほとんどの児童が友達を大切にしている

私たち大人は子供に友達を大切にすること・相手の気持ちを思いやることについてはことあるごと指導していると思います。しかしながら、自分自身を大切にすることについて、意識して指導をしているのか振り返る必要があると考えます。

子供の発達において、自己と他者を比較すること・差異が明確に分かることが始まるのは10歳頃です。（10歳の壁とも言われます。）そのため、自分に自信がなくなり、自分を否定するような傾向が表れてしまうと考えられます。

また、人間関係のとらえ方も広くなり、全体・友達・家族のことを優先し、合わせて行動する中で、自分を抑えて過ごしていることも考えられます。

私たち大人にとって、子供は大切な宝であり希望です。無条件に愛する存在です。自分を大切に、自分らしさを発揮して、楽しく幸せに生きてほしいと願っています。本校では、自尊感情（自分自身を価値ある者だと感じること・好きだと感じること・大切に思える気持ち）を育むことを意識した教育活動を行っています。保護者の皆様には、学校行事や授業等をこの観点から見つめていただき、同じ方向性をもって子供の成長のために取組み、共に歩んでいきたいと思っています。

武蔵台小学校のあゆみ

新青梅街道側にあるつき山は昭和42年にできました。名前は「希望の丘」と言います。当時から子供たちに大人気だったようです。

児童数の増加等による校舎の増築は8回に及び、昭和53年には特別支援学級を含め32学級・児童数1,236人となりました。現在は506人ですので、約2.5倍の児童が過ごしていたこととなります。昭和54年に上鷺宮小学校ができ、約半数の児童が移っていきました。

開校60周年記念式典・祝賀会



平成29年11月18日（土）